

KUMAMOTO GREEN The Weekly Bulletin Rotary-Club

2015-
2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」



世界へのプレゼントになろう

R.I.会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎

熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

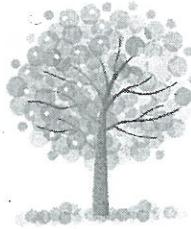
【2016年5月9日】

第1214回

2015-2016年度 第34回

【例 会】

- 1. 開会・点鐘 18:30
- 2. 食事と交歓



国歌「君が代」

「友と語ろう」(熊本グリーンRCソング)

来 訪 者 紹 介 (大友 利行 会長)

卓話者：

劇団四季

俳優 梅崎友里絵 氏

劇団四季福岡営業部 中野 亜弥 氏

梅崎様ご家族 宮川 典子 氏

熊本グリーンローターアクトクラブ(2名)：

柏原 咲紀 君、力久 夏実 君

友 情 の 握 手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

熊本大地震で4週ぶりの例会です。会員の皆様如何でしたでしょうか。何もなかつた方はおられないと存じますが、私は16日の本震は寝ている部屋の天井が半分落ちてその音で目が覚め、裏に積もったほこりが壁土と共に落ちて、もうもうたるほこりでした。

テレビで避難された方が、「うちは築25年になるので危なくて…」と云つておられましたが、小生の家は100年以上で壊れても仕方がない

家ではあります。家の中は物が散乱するし、雨は降ってくるし、片付けをしたり、シートをかけたりして、この所疲れがたまっています。地震はある程度予測が出来るようになってきていて、行政や市民の対応する気持ちをいかに培っていくかが課題でしょうか。天災はどうすることも出来ませんが、人災にならない工夫は私たちに出来ることだと思われます。地震を貴重な体験と受け止め対応することを学ぶ、色々と教えられる出来事でした。

幹 事 報 告 (山下 佳介 会員)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)
①2018～2019年度ガバナーノミニー・デジグネット(ガバナー候補者)の決定のお知らせ

大分1985RC高山 泰四郎氏の推薦があがりました。期日までに他の候補者の推薦がありませんでしたので、高島氏で決定となります。

②「地区研修・協議会」の参加お礼

尚、午後からの分科会に欠席者がいなかつたクラブとして、熊本地区7RCの名を挙げておられます、その中に熊本グリーンRCの名前も入っておりました。

③「宇土RC創立30周年記念式典」延期のお知らせ

5月17日→秋頃に延期

卓話
予定

5/16 「米山梅吉の生涯について」

上林工業(株) 社長 上林節郎 氏(熊本菊南RC)

5/25 「熊本地震の震災について」～会員近況報告～

5/30 「新旧クラブ協議会」～今年度委員会活動報告及び次年度への引き継ぎ～

[熊本グリーンR.C.ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ぶません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

④「熊本西南RC創立40周年記念式典」延期のお知らせ
6月18日→開催時期未定
⑤熊本水前寺公園RC5月例会場変更のお知らせ
5月中はメルパルクが使用出来ない為、三笠うどん南熊本店にて開催されます。

■ 例会変更

【熊本江南RC】

5月11日(水)の例会は、ニューオータニ被災のため例会場を変更し、同日12:30よりフードパル熊本にて行います。

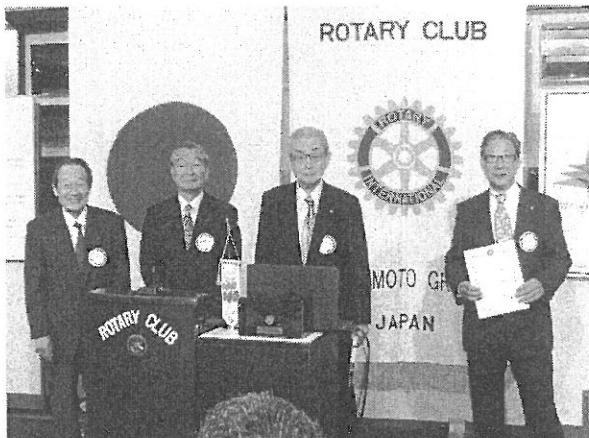
慶 事 (大友 利行 会長)

地区大会表彰

・永年皆勤表彰者:(25年:4名)
仙波 洋八会員 上田 觀一会員
大友 利行会員 十時義七郎会員

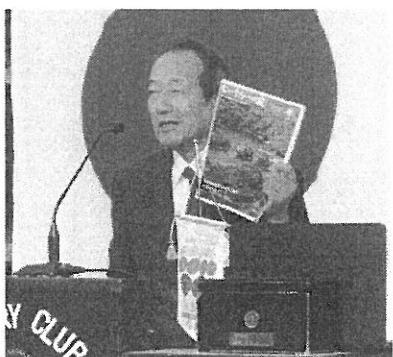
・出席高齢会員(87歳):

十時義七郎 会員



委員会報告

「ロータリーの友」4月号の内容紹介



出席報告 (葉 高源 会員)

	会員総数	22名	出席率	
5月9日	出席免除会員数	1名	57.14%	
	計算上会員数	21名		
	出席会員数	12名		
4月11日	前回の出席会員数	12名	66.67%	
	メークアップ数	2名		
	修正出席会員	14名		
メークアップ済み会員及びメークアップ訪問先				
・4/10 地区研修・協議会 中島(三)君、田中君				

スマイル (松村 秀逸 会員)

- ●大友 利行 君、荒木 一之 君
- 「大地震で四週間ぶりの例会となりました。会員及び御家族、御来訪の皆様にまず御見舞い申し上げます。今夜は山下会員の御紹介で、劇団四季の俳優 梅崎友里絵様のお話を伺うことが出来ました。大変楽しみにしています。」
- ●河島 一夫 君
- ①「米山漣学生でした中国の曹娥(ソウガ)さんより、震災見舞いとともに、女の子が生まれたと聞きましたのでお知らせ致します。」
- ②「地震が熊本で起きる等、誰も思っていないかった事でしょう。皆さんにおかれましては無事でいらっしゃった様子で何よりでした。ロータリーの例会もなく寂しい一ヶ月でした。大変でしょうが何とか一刻も早く元にもどります様に。」
- ●上田 觀一 君
- ①「昔の人は良く言われました。地震、雷、火事、女房、こわいですネ～どれも！我が家は益城に近く大変でした。しばらくはキャンプ生活みたいにおにぎりと唐揚げ等でした。ケガもなく元気にいられるのが幸いです。」
- ②「沢山の方々から励ましの連絡があり、有難く思っています。台風は来る時と去る事がわかりますが…早く終息して収束してもらいたいと思います。大友会長、お願いして下さい。」
- ●田中 純司 君
- 「今日の卓話、劇団四季の話楽しみにしていました。家族全員でおじゃまします。」

- ●福島 和見 君
 ○ 「梅崎様のご来訪感謝申し上げます。予想だにしない震災に見舞われ皆様とお会い出来ることがとても幸せに感じています。全国から支援いただいていることに、そして皆様と元気に再会できることにスマイル致します。」
 ○ ●松村 秀逸 君、十時義七郎 君、長野 義文 君
 ○ ①「地震の被害者の皆さんお見舞い申し上げます。1日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。」
 ○ ②「劇団四季の皆様、本日は宜しくお願ひ致しますのスマイルを致します。」

3.例会プログラム

司会:(紹介者):山下 佳介会員
 卓話:劇団四季 俳優 梅崎友里絵 氏
 演題:「劇団四季とは」



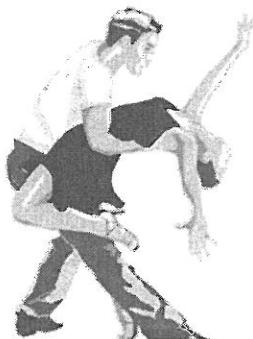
紹介者 山下 佳介 会員



俳優 梅崎友里絵 氏



劇団四季福岡営業部
中野 亜弥 氏



♪卓話者プロフィール♪
 梅崎友里絵さん(29歳)
 (福岡県大牟田市出身)



♪略歴♪

6歳よりクラシックバレエを始める
 数多くのバレエ公演主演、バレエコンクール出場
 海外でのバレエ研修受講

♪バレエ以外♪

小学生の頃は地元の少年少女合唱団に所属
 中学生の頃はコーラス部
 福岡市内の芸能コースのある高校に進学
 ダンス全般、演劇も学ぶ、学校より各イベントに多数出演

♪平成18年劇団四季のオーディション合格♪
 (バレエコース)

♪出演作品♪

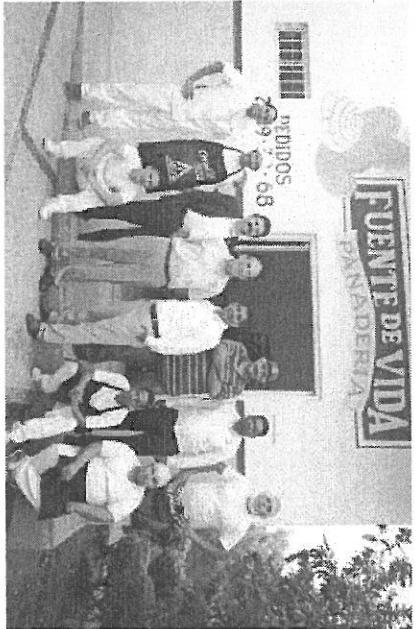
美女と野獣
 オペラ座の怪人
 ライオンキング
 アンデルセン
 はだかの王様
 ふたりのロッテ
 オンディーンヌ
 ミュージカル南十字星

4.終了・点鐘

ロータリー補助金で ふくらむインパクト

キシコ、モンタレーにあるサン・ニコラス・デ・ロス・ガリーリ・ロータリークラブは、地元地域にある薬物依存リハビリセンターと共同でプロジェクトを実施。ロータリーのマッチング、ケランを通じて、同センター内にパン屋を開いただけでなく、センターの入所者に職業研修も提供しました。

このプロジェクトは、クラブの2010-11年度会長エレクト、ロランド・チャベスさんがマイティアを模索していたとき、「Fuente de Vida」という団体の所長ドミニクス・アバロスさんから話がわかったことがきっかけでした。自らも薬物依存から回復した経験のあるアバロスさんは、「Drug Addicts Anonymous」という団体を通じて、20年にわたりメキシコ北部



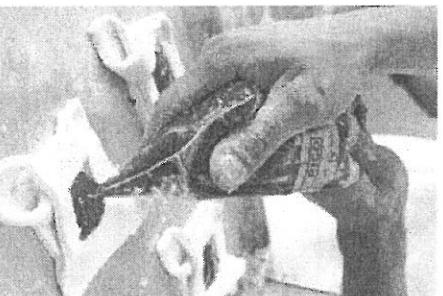
写真上：[Fuente de Vida] の入所者とロータリアン（プロジェクトで設置されたパン屋の前）。写真左：ハビエル・ティエントス・アバロスさん（左）と話すロランド・チャベスさん。

でリハビリセンターを拡大。1983年に設立されたこの組織は、薬物乱用から立ち直ろうとする人たちに住む場所、食料、衣料などを無料で提供しています。入所者は、35あるセンターの滑りと食事の支度を担当しています。

アバロスさんのこの団体と協力すれば、メキシコで蔓延する社会問題に取り組め、クラブにとってもメリットがあると若手のチャベスさんは、30年來のパートナーである第5870地区（米国テキサス州）の2つのクラブ（オースティンとキーリーン・ハイツ）からも支援を募りました。

「このプロジェクトが成功したのは、第5870地区とのパートナーシップのおかげ」と話すチャベスさん。「私たちは地区は30年以上にわたり定期的に会合を開いてアイデアを交換し、協力関係を築いてきました」

2011年の開所以来、このセンターは毎日650人以上にリハビリを提供しています。パンがふくらとふくらむように、「Drug Addicts Anonymous」とのパートナーシップによってプロジェクトが運営されています。また、プロジェクトで提供される研修によって、入所者は90～120日もの期間が終る頃には立派なパン職人に育ちます。パンづくりのスキルを身につけた入所者たちは、退所後に職につけるようになりました。パン



職への需要は高く、「元入所者のほとんどが自立した生活を送っている」とチャベスさんは話します。

②「プロジェクトの流れ（ライフサイクル）」を確認してグローバル補助金申請書により磨きをかけましょう。



上から時計回り：1.センター内に設置されたパン製造施設で働く「Fuente de Vida」の入所者。2.パン生地の中にジャムをつめる入所者。3.パンをオープンに入れるプログラムの参加者。